

防災・安全安心分野

【背景】

（防災関連）

- 市域が広く、海や山などの豊かな自然を有する本市においては、地理的特性に応じて、都市基盤の防災・減災機能や、危機管理体制の強化を図ってきた。
- 近年、気候変動や都市化の進展に伴う豪雨災害や、台風、大規模地震などの自然災害による深刻な被害が各地で発生しており、本市においても、南海トラフ地震（※1）等の発生が想定される中、公助のみによる対応が困難となっている。
- 武力攻撃事態など、新たな脅威や平和と安全に影響を与える多様な事態が懸念されている。

（安全安心関連）

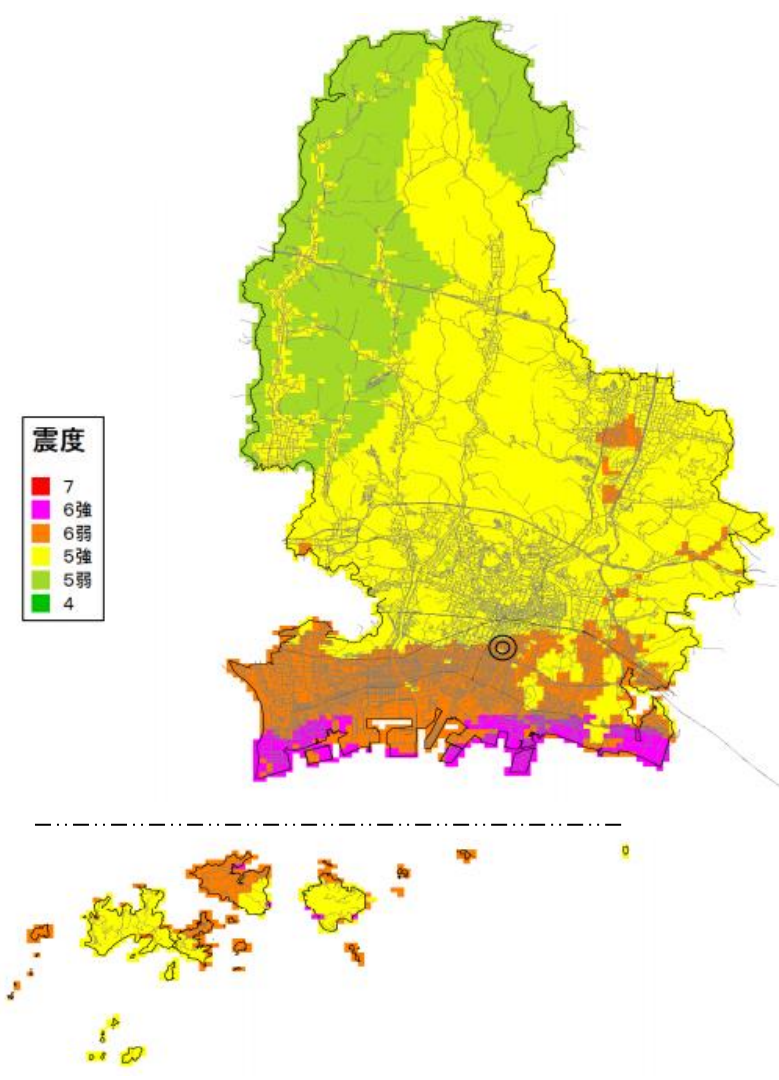
- 火災や事故など、日常に潜む災害の発生件数は、近年、減少傾向（※2）にあるものの複雑化・多様化しており、また、救急出場件数は増加（※2）している。
- 高齢化が進む中、交通事故発生件数に占める高齢者の割合が高くなるとともに、情報化の進展による特殊詐欺などの新たな犯罪やインターネットトラブルが増加している。



【分野目標】～災害に強く安全で安心な都市～

- 1 深刻な被害をもたらす自然災害などに対し、都市基盤の防災・減災機能が強化されるとともに、市民、地域の防災力が高まった災害に強い都市を目指す。
- 2 日常に潜む火災や事故、犯罪、トラブルによる市民の生命や財産への被害を最小限に抑えることができる、安全で安心して暮らせる都市を目指す。

※1 南海トラフ地震の被害想定



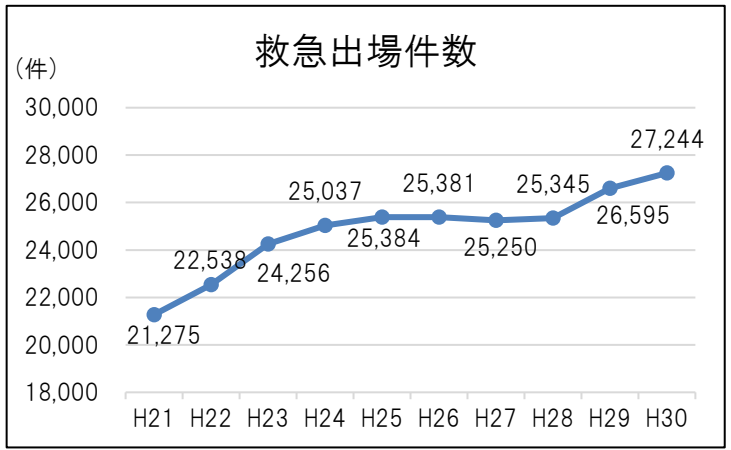
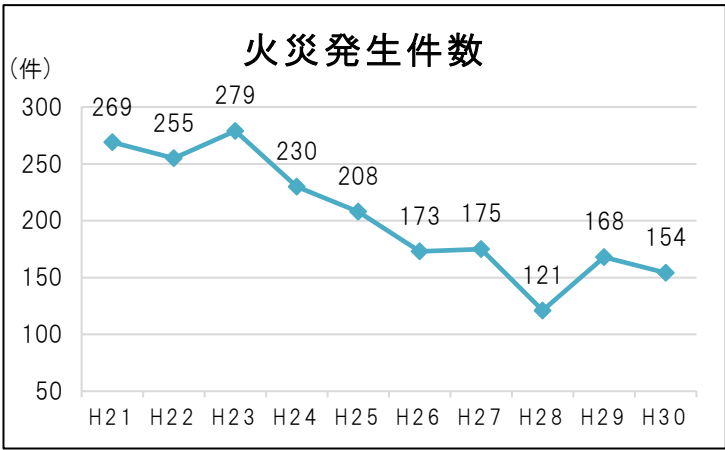
震度別面積率 (%)	震度7	0
	震度6強	3.2
	震度6弱	19.6
	震度5強	60.5
	震度5弱以下	16.7
災害津波水位 (m)		2.5
浸水面積 (ha)	3m以上	0
	1m以上	32
	0.3m以上	134
	0.3m未満	142

被害情報	
建物全壊棟数(棟)	2,033
建物半壊棟数(棟)	15,133
死者数(人)	435
負傷者数(人)	2,767
重傷者数(人)	409
避難者数(1日後)(人)	9,139
帰宅困難者数(当日)(人)	17,965
断水人口(1日後)(人)	51,311
下水道支障人口(1日後)(人)	7,828
停電(1日後)(軒)	342

※冬 18時に発生した場合の被害想定

(資料) 兵庫県の地震・津波被害想定 (南海トラフ) 姫路市

※2 姫路市の火災発生件数、救急出場件数の推移



(資料) 姫路市統計情報より作成